

平成29年度北九州市交通安全対策会議 議事録

■日 時：平成29年8月23日(水) 15:00～16:00

■場 所：北九州市役所本庁舎3階 特別会議室B

■出席委員：14名（敬称略）

会長：梅本（会長代理）

委員：竹下、稲永（重松委員代理）、福原、古賀、小石、中野、浜、
小名川、多田、古川、白石（藤野委員代理）、岸田、重國

■内 容：

1 開 会

事務局長（市民文化スポーツ局 安全・安心推進部長）

2 挨拶

副市長

3 議 題

- ・平成29年度北九州市交通安全実施計画（案）について
- ・運転免許証の自主返納促進施策について

審 議

審議の内容は以下、審議記録のとおり。委員の意見を踏まえ、平成29年度交通安全実施計画（案）について全会了承。

4 閉 会

事務局長（市民文化スポーツ局 安全・安心推進部長）

審議記録（要旨）

○信号機・車線等について

【委員意見】

歩車分離式信号機について、基準があるのか。また、今後、全ての交差点がなっていくのか。

【事務局】

一般的な話として、歩行者数や車の通行量や、地域の方々の意見などを考慮して選定していると思う。

【委員意見】

歩車分離式信号機について、横断歩道がスクランブルになっていない交差点では斜めに渡ってはいけないが、斜めに渡っている人がいる。また、啓発が中々行き届かない、学校や団体などに入っていない方々への指導もしていただきたい。

【事務局】

警察や各区交通安全推進協議会と連携し、年に4回、春・夏・秋・年末と交通安全運動期間中に、交通安全に関する啓発を行っている。その中で、啓発等をしていきたい。

【委員意見】

バリアフリー型対応信号機とはどういったものなのか。

【事務局】

視覚障害者の方などが使われる白いボックスの押ボタン式のものがある。視覚障害者がよく利用する施設の近くや、門司区役所の前にも付いていたと思う。そのボタンを押すと歩行者の青色の時間が少し長くなる。

【委員意見】

道路で車道と歩道等を分ける線などが消えている箇所が多くある。消えていると危険なので整備してほしい。

【事務局】

各区まちづくり整備課が道路の管理をしており、また、安全・安心相談センターでも生活環境パトロールを実施している。各区のまちづくり整備課が一番身近な窓口になるので、気付いた際にはそこに連絡していただければ対応していく。

啓発について

【委員意見】

老人会に入っていない人が多いので、その人たちへも戸別訪問などで啓発してほしい。

【事務局】

女性消防団員と連携して、消防団員が一人暮らしの高齢者宅へ戸別訪問する際に、交通安全の啓発も実施してもらっている。また、市内の調剤薬局とも連携して、薬局へ来た高齢者へ啓発物を配布していただいている。

運転免許証の自主返納促進施策について

【委員意見】

運転シミュレーターは、交通公園へ行けば申込みしなくてもすぐできるのか。

【事務局】

月1回程度を考えており、事前に募集し、申し込みをいただいで利用になる。指導員がついて操作など行うので、来園してすぐに利用するのはまだ出来ない。

【委員意見】

民間によるサービスとは、賛同していただける企業等から商品やサービスを提供していただくことをお願いするということか。

【事務局】

免許返納した際に、運転経歴証明書というものを発行できる。これを提示すれば、例えば、宿泊料や飲食代の割引などしていただくという内容になる。これに賛同していただける企業等を公募し、市が取りまとめリーフレット等を作成し、各区役所で配布したりホームページなどに掲載して周知する。

自転車の安全利用について

【委員意見】

中学生が自転車のルールを守ってないことがある。中学生への自転車講習等を実施してルールを勉強させてほしい。

【事務局】

中学2年生を対象に「自転車交通ルール検定」を全中学校の全生徒を対象に実施している。また、市立中学校62校で交通安全教室や自転車教室を実施している。

【委員意見】

高校生が通学の際に、自転車で並列で走っている。指導してほしい。

【事務局】

高校では、学校へも住民から苦情が来たりするので、自転車通学など登校の際に生徒指導の先生が指導していると聞いている。

【委員意見】

小学生の自転車については、保護者の意識も必要だと思う。自転車を買わせるのは保護者であり、その際に、危ない乗り方をして事故の加害者となり高額な賠償命令が出されることや、自分の子どもの命を守ることなどを意識して、親子で約束事などすることも必要だと思う。

【委員意見】

門司区では、交通安全教室などで、警察署だけでなく交通指導員や推進員など、また、複数の学校などが協力し合って、子どもたちを守ってくれているというのがありがたい。昨年度、高齢者と一緒に実施した交通安全教室では、歩行者シミュレーターを使って、大きな画面で楽しくゲーム感覚で実施できて、交通安全教室もでき、高齢者とも触れ合うことができ大変良かった。